

第3回
研修会

～釜石の奇跡はかくて起こった～

3.11東日本大震災

「想定外」

にいかに備えるか

2月11日(土)

会場 中日パレス
中日ビル5階
名古屋市中区栄4-1-1
TEL:052-261-8851

片田 敏孝氏



片田 敏孝氏 Toshitaka KATADA
(昭和35年11月19日 岐阜県 生まれ)
群馬大学大学院工学研究科、社会環境デザイン工学専攻
教授、広域首都圏防災研究センター長

3.11東日本大震災で釜石の子供 2926人を救った男と言っても過言ではない群馬大学の片田敏孝教授をお招きし、「想定外」にいかに備えるかをご講演頂きます。平時に備えるリーダーこそ、危機を越えることが出来ます。教育関係の皆さん、また企業でBCP対策(※)の担当方にも必ずお役に立つ講演です。

※BCPとは、突然の緊急事態に対して経営者が、損害を最小限にとどめつつ、事業を、早期に復旧・継続していくために、平常時に行うべき行動や緊急時における事業継続のための方法・手段を取り決めておく計画であり、今後はあらゆる企業に求められる重要な要素です。

受付開始 PM 3:30
講演 PM 4:00~5:30

締め切り
1月24日(火)

会場 中日パレス
(名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル5階)

会費 講演会のみ参加 **無料** 先着順で定員になり次第締め切らせていただきます。

情報交換会(懇談会)の参加

経営研究会：2,000円/人

名古屋中法人会会員：3,000円/人

一般：4,000円/人

事前振込制(振込口座を折返しご連絡いたします)申込み頂いた方には、受講票をFAXいたします

参考

片田敏孝氏の信念、「被害者ゼロの防災」を目指して!

国土交通省の「津波高潮ハザードマップ」の作成を自治体に促す委員会の一員として、三陸沿岸部の自治体支援したことをきっかけに岩手県釜石市の防災・危機管理アドバイザーを引き受けることになった片田氏は、2004年から同市の小中学生を対象に津波の防災教育をスタートした。

小中学生をターゲットとすることで、当初は子供を通して保護者への理解も得られ、こうした活動を数十年単位で続けられ、地域を構成するメンバーすべてに浸透することになる…という狙いだ。

防災教育の内容も子供の発達段階に応じてカスタマイズしてプログラム化。正規の授業の一環としてとり入れた。その取り組みの途上でやってきた2011年3月11日一。

内閣府主催の防災セミナーの講演のため青森県八戸市にいた片田氏。

登壇直前に強い揺れを感じ釜石市の担当者に電話をしたところ……

震災で1300人を超える死者・行方不明者が出た同市だが、次代を担う約3000人の小中学生は生きていた。「自分の命を守る行動を最優先しろ。それが周囲を救う」——片田氏の繰り返ししてきた主張を小中学生が守ったのだ。片田氏はあふれる涙を抑えることができなかった。

目指す「被害者ゼロの防災」への道のりは道半ば。釜石市でも多くの犠牲者が出ている。数十年先を見据えた片田氏の活動は地域とともにこれからも続く。

(片田氏の活動は2011年4月24日付け、日本経済新聞朝刊で紹介されました)

私ども社団法人名古屋中法人会では、様々な文化事業、研修事業等を企画実施しています。よき経営者をめざすものの団体…、それが法人会です。

社団法人 名古屋中法人会 経営研究会
片田 敏孝 講演会参加申込書

FAX.052-242-9429

切り取らずそのままFAXしてください。

社団法人名古屋中法人会事務局 〒460-0008 名古屋市中区栄4丁目3番26号 TEL052-242-9427

フリガナ		フリガナ	
御社名		参加者名	<input type="checkbox"/> 講演会のみ出席 ※チェックが無い場合は両方出席となります。
FAX番号	※折返しご連絡いたしますので、必ずご記入下さい。 () -	フリガナ	<input type="checkbox"/> 講演会のみ出席 ※チェックが無い場合は両方出席となります。
御社住所	〒 -	参加者名	
		電話番号	() -